

TOTO

リモコン便器洗浄ユニット (HE30JK系)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。	 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------

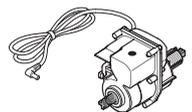
 警告	
 禁止	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わない 火災の原因になります。 電気器具なので、絶対に水をかけない 故障や事故の原因になります。 ACアダプターをぬれた手で触らない 感電の原因になります。

 警告	
 分解禁止	修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理、改造は行わない 故障や感電の原因になります。
 水場使用禁止	水がかかったり、表面に結露が生じるような湿気が多い場所、 特に浴室やシャワールームで使用しない 故障や感電の原因になります。
 必ず実行	ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分 差し込む 火災の原因になります。

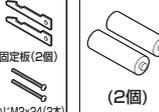
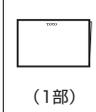
 注意	
 禁止	器具に強い力や衝撃を与えない 故障や事故の原因になります。
 必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 故障や事故の原因になります。 取り付けの際は止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器洗浄ユニット	リモコン	受信ユニット	ACアダプター
 (1個)	 リモコン ハンガー (1セット)	 ハンガー (1セット)	 (1個)

 (1個)	 ストッパー-L(緑) (1個)	 回り止め (1個)	 スペーサー(丸形) (1個)	 サンドペーパー (1枚)
 シール (1枚)	 ナット (1個)	 皿ねじ(ストッパー用) M3×10(1本)	 コードフック (7個)	

固定具類(3袋)	単3乾電池	施工説明書	取扱説明書
 十字穴付ねじ タッピングねじ φ4×30(2本) アンカープラグ (2本) アンカープラグ (2本)	 固定部品 (1個) ねじ① φ4×30(3本) ねじ② φ3×10(1本) ねじ③ φ4×30(3本) ねじ④ φ3×10(1本) 固定板(2個) ねじ⑤ φ2×24(2本)	 (2個)	 (1部)  (1部)

仕様

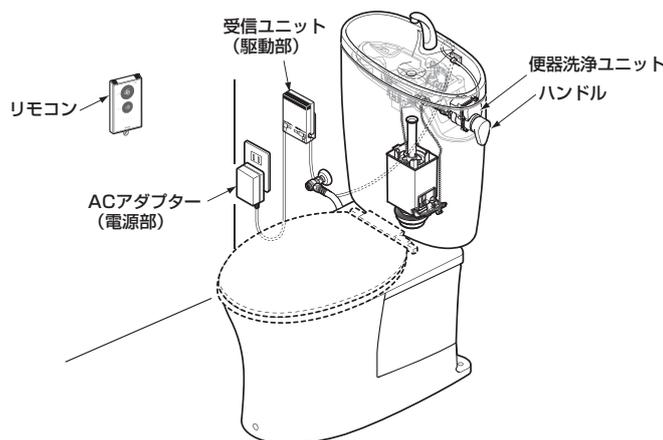
電源	駆動部	AC100V 50/60Hz	電源コード長さ	1.9m
	リモコン部	単3乾電池 2個	主要材質	ABS樹脂
消費電力	常時1W 駆動時30W	周囲使用温度範囲	0~40℃	

取り付け前に

- 電気製品ですので**受信ユニットや、ACアダプター、リモコンに水をかけない**ようご注意ください。また**浴室内では使用しないでください**。
- 電源は**AC100V(50/60Hz)**です。当商品と他の電気機器を併設する際の電源用コンセント布設に関しては、必ず**電気工事店様**にご依頼ください。リモコンの送信部や受信ユニットの受信部を傷つけないよう十分ご注意ください。
- 当商品はすべて**右ハンドル専用**品です。
- 連立対応については、下記URLの「施工情報」
→「リモコン便器洗浄ユニット連立対応方法」をご覧ください。
(URL)<http://search.toto.jp/contents/navi/>



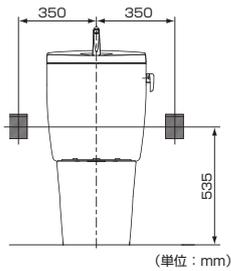
各部のなまえと全体構成



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

取付位置の確認

受信ユニットの取付位置を確認する。



警告



止水栓の真下やまわりにリモコンや受信ユニットを置かない
結露などにより火災や感電、故障の原因になります。

……受信ユニット推奨位置

- 注1) 給水位置の下には、受信ユニットを置かないでください。
- 注2) リモコンと受信ユニットは、できるだけ同じ側に置いてください。
- 注3) 棚があると、受信性能が低下しますので、棚の下には設置しないでください。
- 注4) 受信ユニットは必ず480mm以上の高さにして、便器洗浄ユニットのコードとACアダプターのコードが届く範囲内で設置してください。
※コード長さ 便器洗浄ユニット1.5m

施工手順

下記表を参考にして、該当商品を選び、施工手順に従って取り付けてください。
【商品別該当品番 (タンク) 一覧表】

<HE30JK系>

ビュアレスト/ビュアレストEX/ビュアレストQR (一般地・寒冷地)/ビュアレストMR

タンク品番	SH320系	SH332系	SH214BA	SH230系	SH220系
	SH321系	SH333系	SH215BA	SH231系	SH221系
	SH330系	SH334系			
	SH331系	SH335系			

<HE30JK系>

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式/タンク式

タンク品番	SP496系	SP495系
	SH596系	SH598系
	SH597系	SH599系

パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式の場合

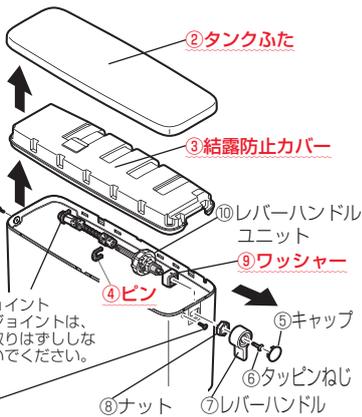
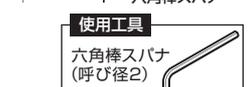
1 既存ハンドルの取り外し

- 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く。
- 各部品を取り外す。(下記参照)

- ①～④、⑨の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。

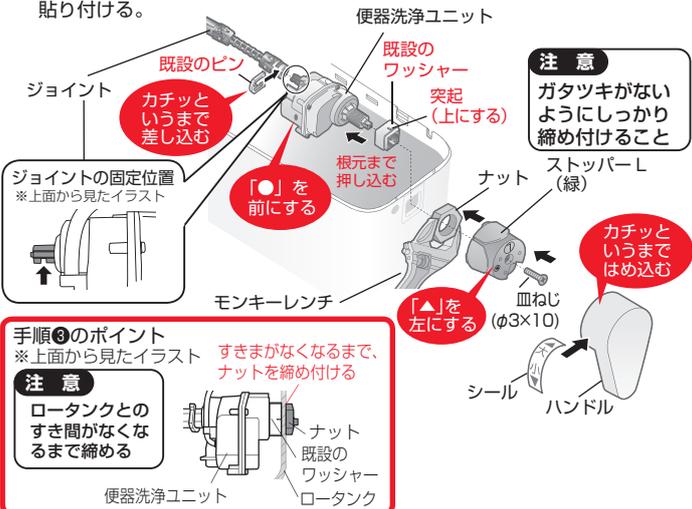
①ふた固定ねじ

タンクふたを取りはずす前にふた固定金具をはずす必要があります。

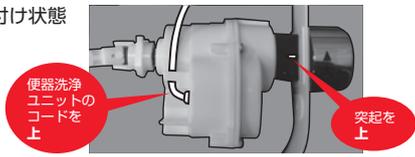


2 便器洗浄ユニットの取り付け

- 既設のワッシャーをはめ込む。
- 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む。
- ナットをモンキーレンチで締め付ける。
- ジョイントをはめ、既設のピンで固定する。
- ストッパーL (緑) を血ねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける。

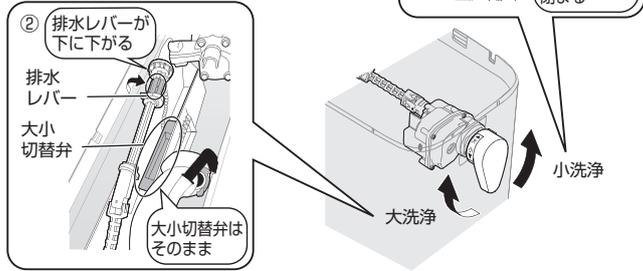


- 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する。

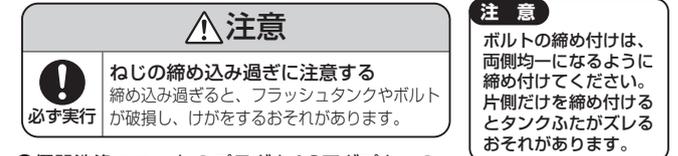
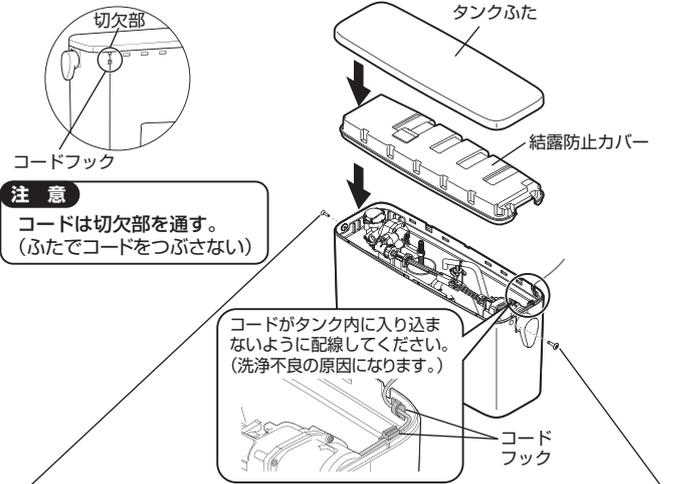


- ハンドルを動かして確認する。

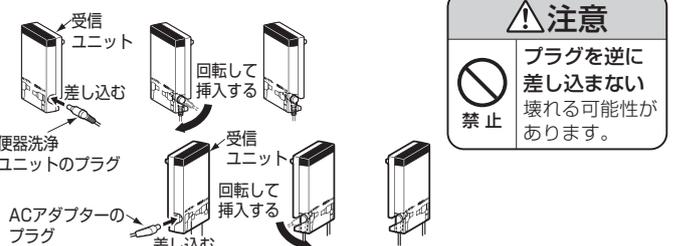
- 排水レバーと切替弁が引き上がる。
- 排水レバーが押し下がる。
- ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ハンドルを「大」側に回したときは、排水弁のみが引き上がること。
- ハンドルを「小」側に回したときは、排水弁・切替弁が引き上がること。



3 コードフックの取り付けとコードの配線



- 便器洗浄ユニットのプラグとACアダプターのプラグを受信ユニットに差し込む。

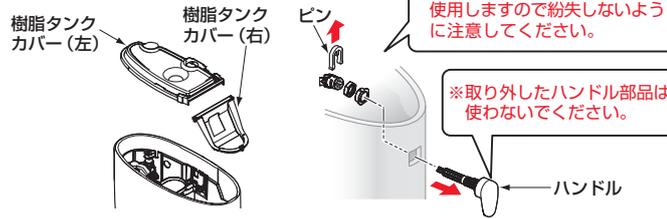


コードフックの取り付けとコードの配線後は、
4 リモコンと受信ユニットの取り付けに進んでください。

ピュアレスト・パブリックコンパクト便器タンク式の場合

1 既存ハンドルの取り外し

- ① 止水栓を開けてロータンク内の水を抜く。
- ② ロータンクふたと樹脂タンクカバー（左）を取り外す。
※流動方式の場合は、流動レバーを外さないと、樹脂タンクカバー（左）が外せないのであります。
- ③ 既設のハンドルを取り外す。
- ④ 樹脂タンクカバー（右）を取り外す。



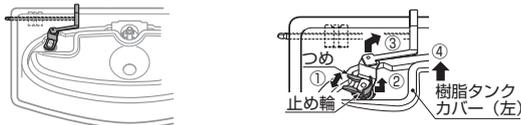
流動方式の場合

商品によって流動レバーの形状が異なります。

〈パターンAの場合〉
流動レバーを後ろから操作するタイプ



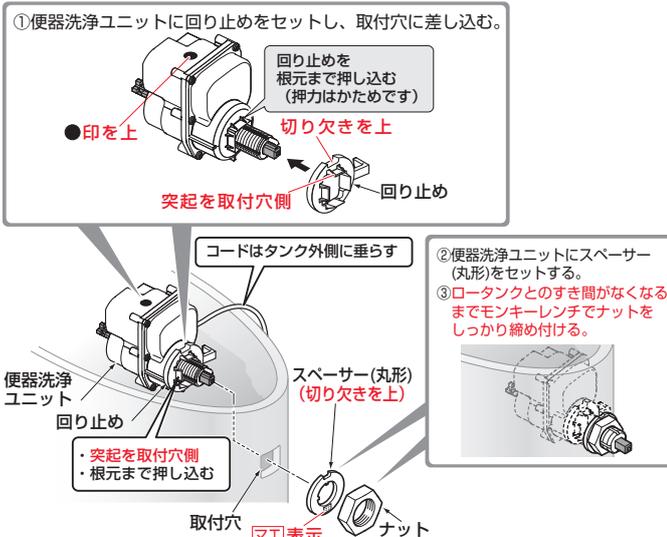
〈パターンBの場合〉
流動レバーが後ろに出て横から操作するタイプ



- ① 止め輪のつめ部分を広げます。
- ② 止め輪をスライドさせ、外します。
- ③ 流動レバーを外します。
- ④ 樹脂タンクカバー（左）を持ち上げて外します。

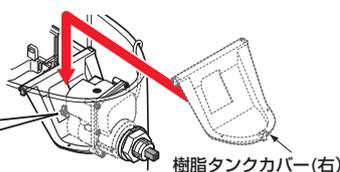
2 便器洗浄ユニットの取り付け

- ① 便器洗浄ユニットの●印を上にしてロータンクに取り付ける。

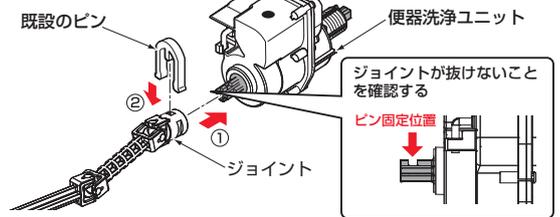


- ② 外した樹脂タンクカバー（右）を取り付ける。

※ユニット本体を通して取り付ける



- ③ 便器洗浄ユニットのピン固定位置までジョイントを差し込みピンで固定する。



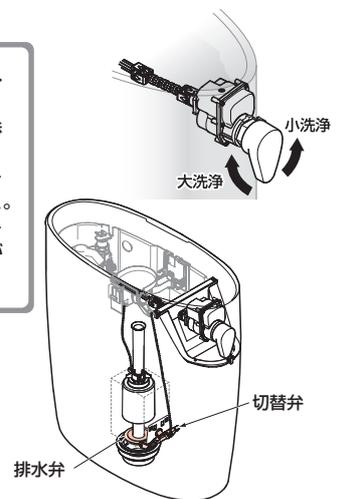
- ④ ハンドルを取り付ける。

① 印を上にしてストッパーL（緑）をはめ込み、皿ねじで固定する。**注意** ガタツキがないようにしっかり締め付けること ●印を上



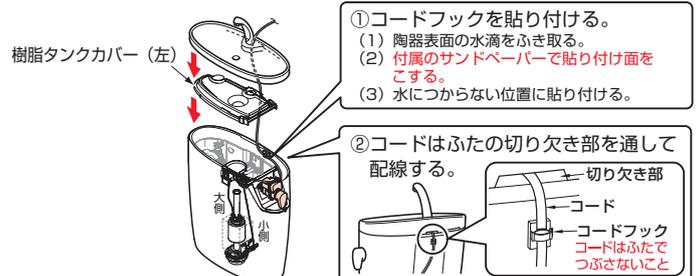
- ⑤ ハンドルと排水弁の作動を確認する。

- ① ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ② レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ ハンドルを「大」側に回したときは、排水弁のみが引き上がること。
- ④ ハンドルを「小」側に回したときは、排水弁・切替弁が引き上がること。



3 コードフックの取り付けとコードの配線

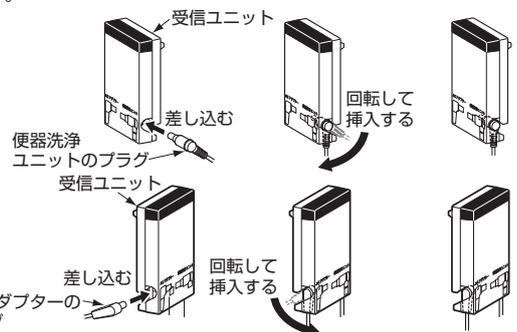
- ① コードフックを取り付け、コードを配線する。



- ② 便器洗浄ユニットのプラグとACアダプターのプラグを受信ユニットに差し込む。

- ① それぞれのプラグを受信ユニットに差し込む。(下図参照)
- ② 下に回転させ、カバー内に収める。

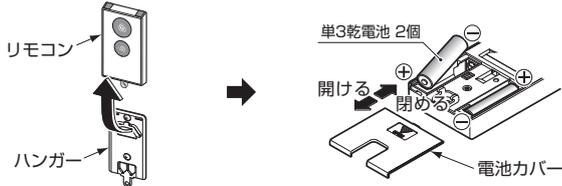
注意
プラグを逆に差し込まない
壊れる可能性があります。



共通

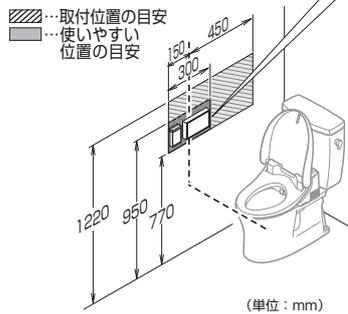
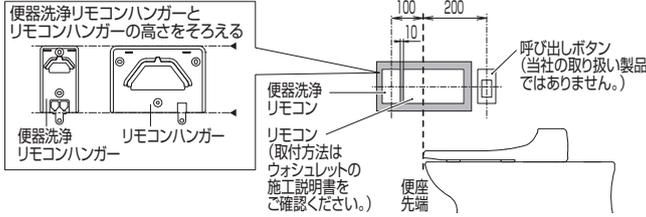
4 リモコンと受信ユニットの取り付け

- ①リモコンとハンガーを取りはずす。
- ②リモコン裏面の電池カバーを開け、単3乾電池2個を正しく入れる。



- ③リモコンの取付位置を決める。

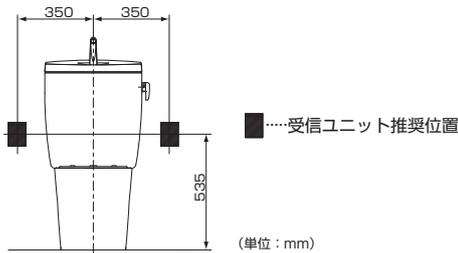
公共トイレ操作系JIS (JIS S 0026)に対応する場合は、下記位置に取り付けてください。



【作動の確認】

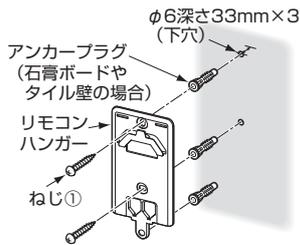
- ①「流す(大)」ボタンを押して便器洗浄を行うことを確認する
 - ②作動しない場合
 - リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が動作しないことがあります。
- 室内の広さ、壁、材質などの条件が合わないとき
 - 黒っぽい天井や壁のとき
 - インバーター方式の照明下のとき

- ④受信ユニットの取付位置を決める。



リモコン部

- ⑤リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける。
 - 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
 - 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



- ⑥リモコンに固定部品を取り付けてセットする。

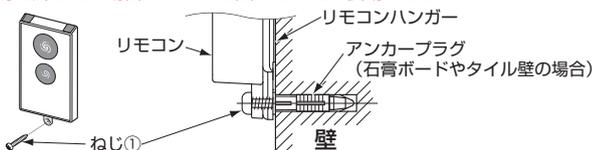


- ⑦リモコンをリモコンハンガーにセットする。



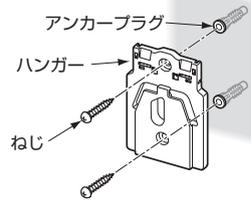
- ⑧リモコンハンガーとリモコンをねじ①で固定する。

※容易に外したい場合は、ねじを固定せずにご使用ください。



受信ユニット部

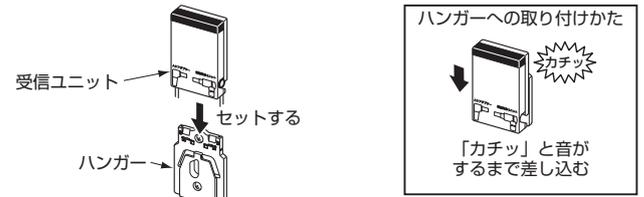
- ⑨ハンガーをねじで壁に取り付ける。
 - 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
 - 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



- ⑩ハンガーの固定板取付位置(左右2カ所)に固定板を差し込む。



- ⑪受信ユニットをハンガーにセットする。

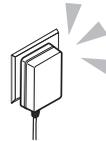


- ⑫固定板の穴にねじを差し込み、プラスドライバーで止まるまで締める。



- ⑬ACアダプターをコンセントに差し込む。

ACアダプターの差し込みプラグを根元まで確実にコンセントに差し込む。

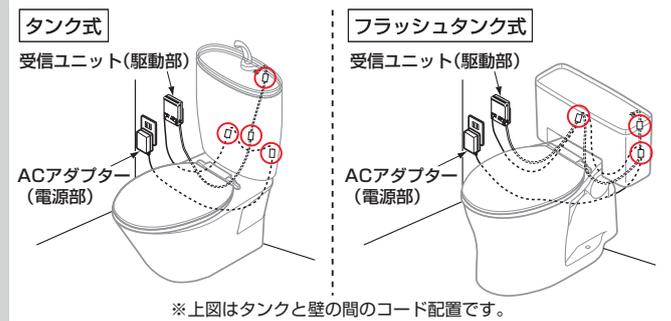


警告



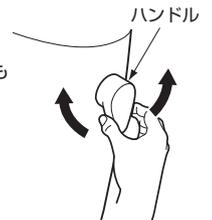
ACアダプターは、必ずコードが下向きになるように取り付ける。コードを上向きに取り付けると、ACアダプターの差し込みがあまくなり、感電の原因になります。

コードフックの取り付け時に余ったコードフックは、配線がたるまないようタンク背面に貼り付けて使用してください。



取り付け後の確認

- ①ロータンの止水栓を開ける。
- ②手動で便器洗浄を確認する。ハンドルを手で操作して、便器洗浄が大・小洗浄とも正常に行われることを確認する。



正常に作動しない場合

- ハンドルは正しく取り替えましたか？
- ハンドルとジョイントの接続は正しく出来ていますか？

- ③リモコンによる便器洗浄を確認する。「大」「小」スイッチを押して便器洗浄を行うことを確認する。
 - ※連続して押すと作動しません。10秒以上間隔をとってください。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。